

# 02

## ふるさとの里山で自然と人の暮らしを学ぶ

いなべ市立阿<sup>あげ</sup>下<sup>き</sup>喜小学校



森の学習



森の健康診断



間伐体験



テーマ別座学



里山学習



組子細工体験

### ねらい

- ・阿下喜の森（人工林）の健康診断を通して、地域の森の現状を知るとともに関心を持ち森についての探究活動を行う
- ・里山学習を通して先人たちの暮らしを知り、人々の暮らしの変化による自然環境への影響を考える
- ・建具職人から伝統工芸の組子を学び人々と木の関係を学ぶ

### 取組内容

5年生は、日本の森についての学習と神社林の見学、森の健康診断の実習をしました。森の健康診断の結果を受けて間伐が必要な森と判定されたので、ヒノキの間伐と丸太切りの体験を実施しました。

6年生は、「いなべ市の里山」をテーマに獣害、土石流災害、絶滅危惧種の動植物等の学習、その中からテーマを選定し新聞づくりに取り組みました。

また、5・6年生の共通の取組として、地元の建具職人からスギの木を使った組子細工を学び、匠の技にふれました。

森林、林業、木材全般を学ぶことにより、里山や健康な森を守っていくことの難しさを知り、将来「ふるさとの里山」を守るために何が必要かを探求することができました。

内容	・神社林見学 ・森の健康診断 ・里山の学習 ・木工の学習
時間	5年生 13時間 6年生 20時間
場所	教室、体育館、学校林及び私有林、神社林
対象	5年生 28人 6年生 30人
講師	山造り研究所：鬼頭志朗氏 いなべ自然楽校：出口省吾氏 いなべ市まちかど博物館：木村修氏
備考	「みえ森と縁の県民税市町交付金」を活用した市事業「森林環境教育支援事業」

【先生のコメント】 間伐の大切さを学ぶとともに、自然の中での体験活動で癒しの時間を過ごせたと思います。また、里山での野外活動を通じて里山問題から人と森のかかわりの深さが実感されたと思います。さらに、地元の名工からは木の文化の美しさを実感できたと思いました。